

金融危機とプルーデンス政策

翁 百合

日本総合研究所理事, 日本学術会議会員

2010年8月28日

概要

2007年以降のグローバルな金融危機と規制監督政策にはどのような関係があったかを探り、マクロプルーデンスの視点に立った規制監督政策の変換の必要性について述べる。そのうえで、現在議論が進んでいる欧米の規制監督改革について紹介し、評価する。